

## J - クレジット制度における事例紹介映像の対象プロジェクト応募申請書 【記載例】

平成 26 年 月 日

J - クレジット制度における事例紹介映像の対象プロジェクト募集について、留意事項に同意し、下記のとおり応募いたします。

### 1. 申請対象プロジェクト

プロジェクトの登録状況 【必須】	プロジェクト登録済み プロジェクト登録番号：  プロジェクト未登録	
プロジェクト名 【必須】	から への更新プロジェクト	
代表事業者名 / 運営・管理者名 【必須】	株式会社	印

プロジェクト未登録の場合、プロジェクト計画書（別紙含む）を併せてお送りください。

### 2. 連絡担当者

担当者氏名 【必須】	
担当者所属・役職 【必須】	部 課長
担当者 E-mail 【必須】	aa@aaaa.co.jp
担当者電話番号 【必須】	****_**_****

### 3. プロジェクトの実施経緯及び特色について

プロジェクトの実施経緯 【必須】	<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重油価格の高騰に伴い、燃料費によって事業運営が逼迫し、重油依存度の軽減、燃料使用量の削減が必要不可欠であった。そこで、使用している重油焚きボイラーを高効率の都市ガスボイラーへ変更することで、比較的価格が安定している都市ガスによる重油の代替、機器効率向上によるエネルギー消費量の削減を考えた。</li> <li>・他社の環境取組に関する講演を拝聴した際に J - クレジット制度の活用事例を聞き、過去に自社工場で推進してきた電球の LED 化や高効率空調設備の導入も対象になり得ると考え、プロジェクト登録を行った。</li> <li>・ . . .</li> </ul>
---------------------	---

<p>プロジェクトの特色</p> <p>【必須】</p>	<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、方法論 EN-S-            を活用した唯一のプロジェクトである。</li> <li>・自社の試みを J - クレジット制度において評価するため、方法論を提案し策定された。</li> <li>・環境貢献の PR 及び製品の差別化・ブランディング化を図るため、森林吸収プロジェクトによるクレジットを、カーボン・オフセット（製品名：            ）に活用している。</li> <li>・被災地でのプロジェクトから生じたクレジットであり、積極的な被災地支援を行った企業（株式会社            など）を優先して売却している。</li> <li>・クレジットは地域の催事（            祭り、            祭り）や地域内の大学（            大学）における学園祭、地域内の他企業（株式会社            ）に売却することで、クレジットの地産地消を行っている。</li> <li>・・・</li> </ul>
<p>プロジェクト実施後の反響</p> <p>【任意】</p>	<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J - クレジット制度活用も含めた環境取組に関する講演依頼がくるようになった。</li> <li>・プロジェクト実施地への視察がくるようになった。</li> <li>・当初 10 名だったプロジェクトの参加人数が 30 名まで増加した。</li> <li>・・・</li> </ul>

#### 4 . 事業内容について

<p>代表事業者/運営・管理者の事業内容【必須】</p>	<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピニールハウス栽培を主とする農作物生産。</li> <li>・自治体として、民間への再生可能エネルギー普及のための補助金制度の運営などを行っている。</li> <li>・・・</li> </ul>
<p>その他の活動</p> <p>【任意】</p>	<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の農家や NPO 法人と連携して、地域の催事を主催している。</li> <li>・海外における森林管理のための出資を行っている。</li> <li>・・・</li> </ul>

以上